CATV ステイタスモニター センター装置

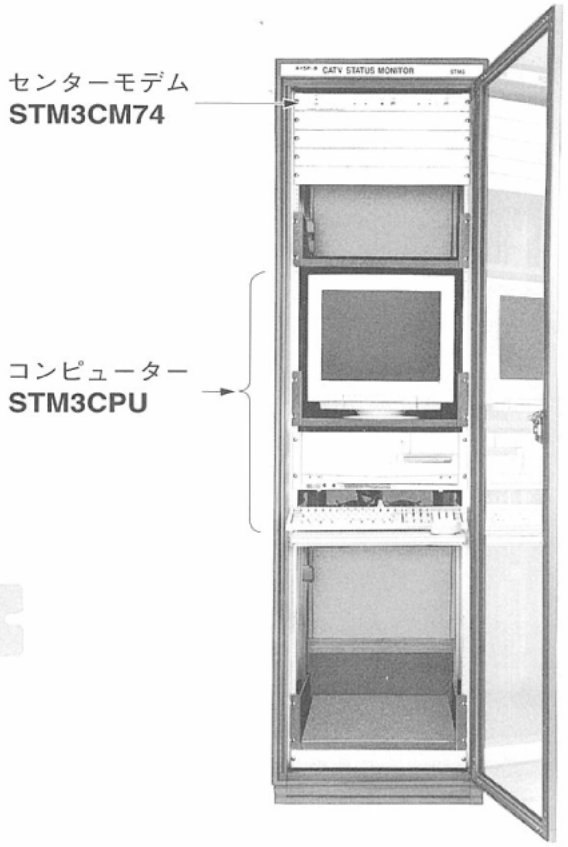
取扱説明書

STATUS MONITOR CENTER EQUIPMENT

STM3ベース（ラックシステム）

STM3CM74（センターモデム）

AC100V方式



STM3ベース

センターモデムSTM3CM74
コンピューターSTM3CPU
は，別売です。

STM3CM74

MASter of PROduction
生産の覇者

標準化仕様に対応　STM3CM74

送・受信周波数，変調方式，データ信号伝送速度などを標準化仕様（日本CATV技術協会）にしてありますから，標準化仕様のステイタスモニターユニットが使用できます。

優れた防塵構造　STM3ベース

ラックは，扉を備えた密閉構造に加え，熱交換器を使用した放熱機構によって，外部からの塵や埃などの侵入を防ぎますから，長期間にわたって収納機器の性能を安定して維持できます。

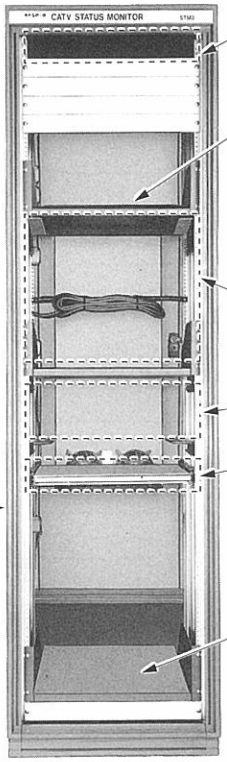
●ご使用の前に，この「取扱説明書」をよくお読みください。
●お読みになったあとは，保存してください。

親切・技術の
MASPRO
=マスプロ電工=

APR.,1998

各部の名称と機能

STM3ベース



センターモデム STM3CM74 取付位置

テーブル（奥行き400mm）

●マニュアル，フロッピーディスクなどを置くとき使用します。
●熱を発生する機器を設置する場合，温度上昇を防ぐため，ラック内の使用機器の消費電力の合計が，430Wを超えないようにしてください。

コンピューターSTM3CPU（別売）

ディスプレー 取付位置

コンピューター本体 取付位置

キーボード・マウス 取付位置

（スライドテーブル）

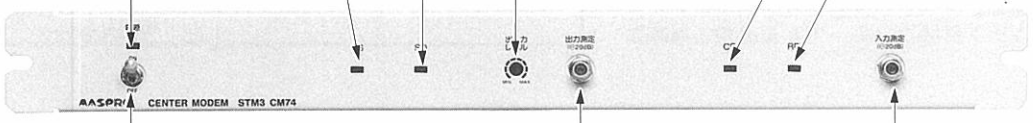
ラック本体

テーブル（奥行き610mm）

●プリンターなどを設置するとき使用します。
●ラック内の温度上昇を防ぐため，プリンターを使用するときは扉を開けてください。

STM3CM74

前面



CS表示灯
下りデータ信号が送信可能のとき，点灯します。

SD表示灯
下りデータ信号を送信しているとき，点灯します。

CD表示灯
上り搬送波を受信しているとき，点灯します。

電源表示灯

出力レベル調整
出力レベルが0～⊖20dBの範囲で連続して調整できます。

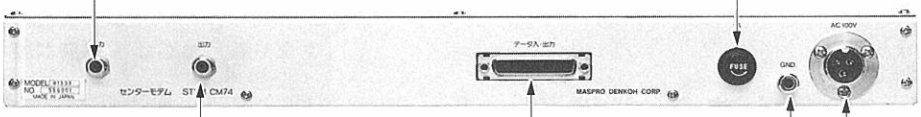
RD表示灯
上りデータ信号を受信しているとき，点灯します。

電源スイッチ

出力測定端子（⊖20dB）

入力測定端子（⊖20dB）

背面



入力端子（F型コネクター）
PSK信号（46MHz）を入力します。

ヒューズ（定格1A）
定格値を超えるヒューズは，絶対に使用しないでください。

アース端子

出力端子
（F型コネクター）
FSK信号（70.5MHz）を出力します。

データ入・出力端子
（D-subコネクター）
コンピューター**STM3CPU**（別売）と接続します。

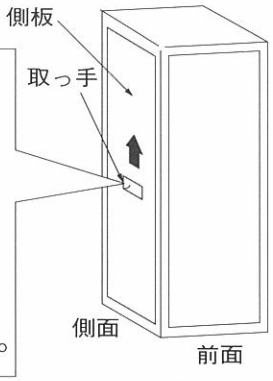
電源コードレセプタクル
（AC100V）
付属の電源コード（3Pコネクター付，約1.5m）を使用して，電源AC100Vを供給してください。

ラックの固定方法

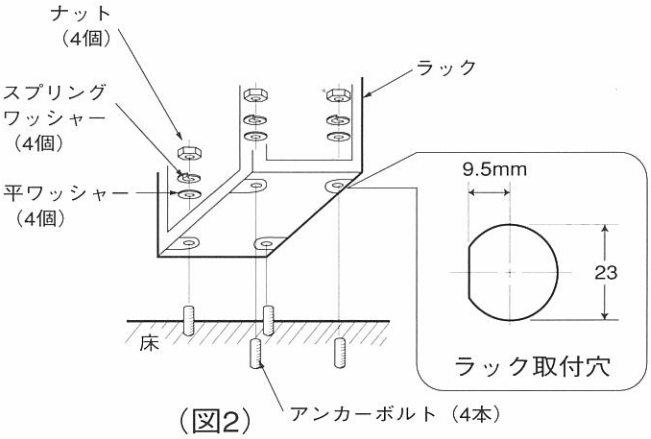
ラックは，転倒防止のため，コンクリート床面にアンカーボルト（市販品）で固定してください。
①ラック側面の取っ手の部分を持上げて，側板を外してください。（図1）
②ラックを持上げて，アンカーボルトの位置へ静かに降ろしてください。（図2）

⚠注意

取っ手を持って，ラックを持上げないでください。
側板が外れ，けがの原因となることがあります。
この取っ手は，ラック内部の機器を点検するときに，側板を外すためのものです。

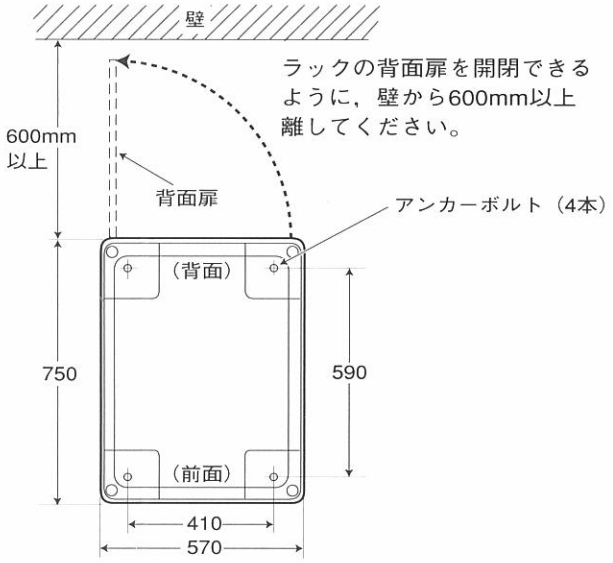


（図1）

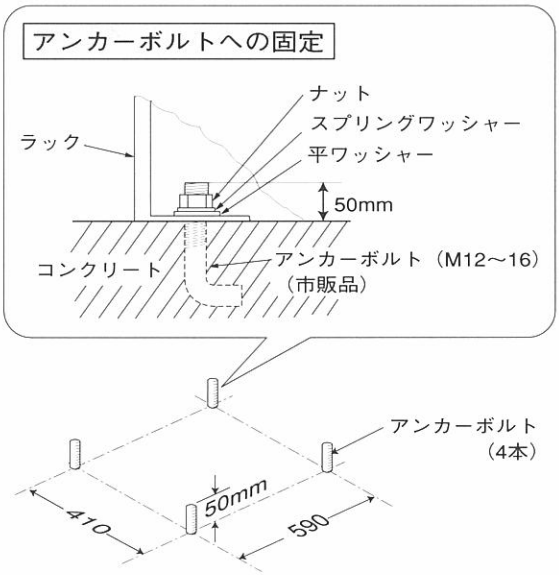


（図2）

ラックの設置位置

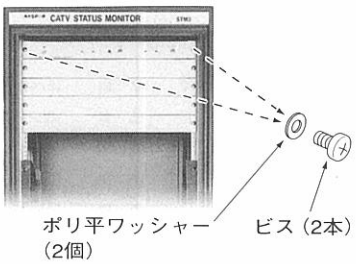


アンカーボルトへの固定

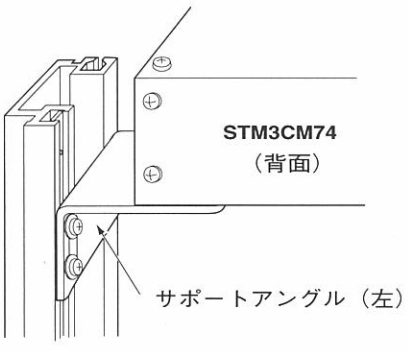


センターモデムの取付

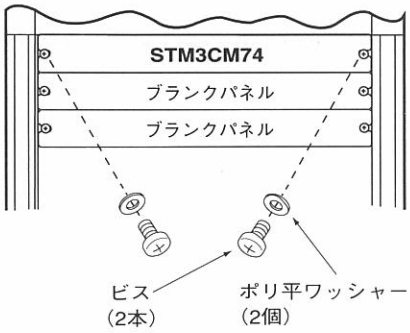
①ラック最上部センターモデム取付部から，ビス（2本）とポリ平ワッシャー（2個）を取外します。



②ラックの奥にあるサポートアングルに，**STM3CM74**の後部を載せます。



③取外したビスとポリ平ワッシャーで，ラックに固定します。

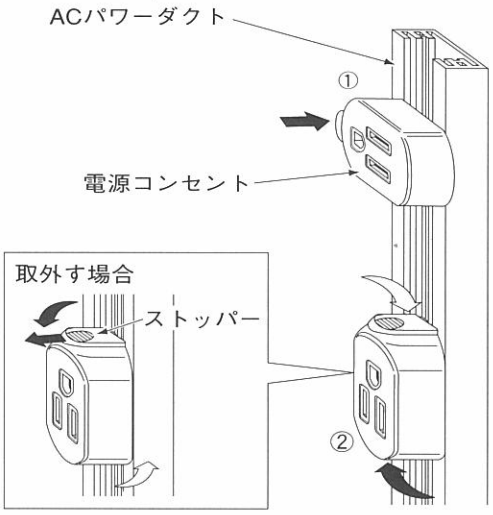


電源コンセントの取付・取外し

①電源コンセントをACパワーダクトに差込みます。

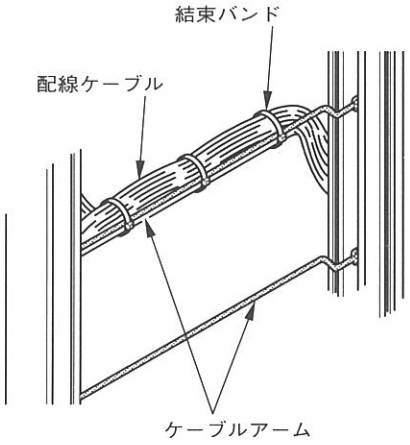
②電源コンセントを90°(右)へ回して固定します。

(取外す場合,ストッパーを手前に引きながら電源コンセントを(左)へ回します。)



ケーブルアーム

ラック背面で配線ケーブルを固定するために使用します。



(ラック背面)

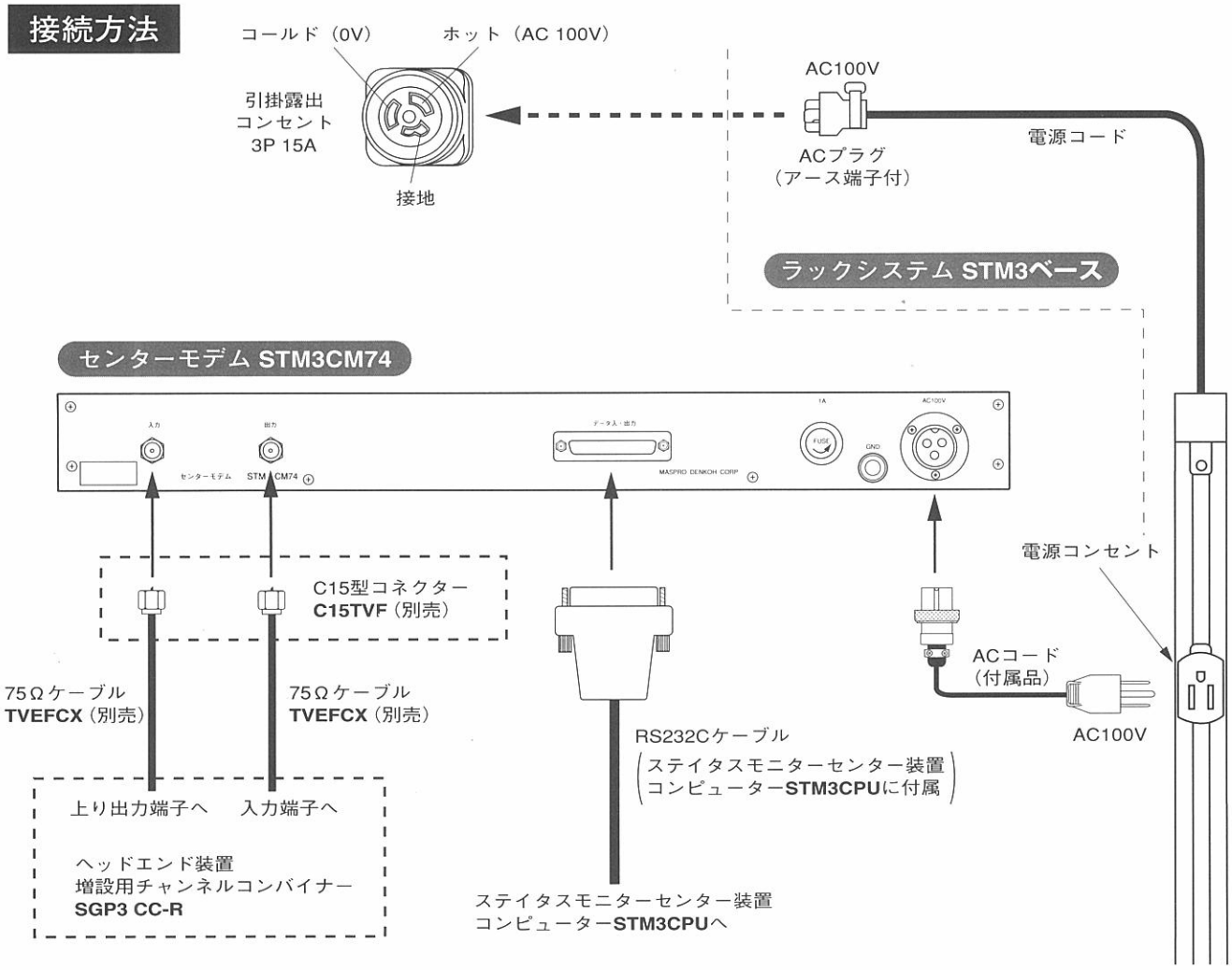
STM3ベース 構成部品

サポートアングル(右・左) ····· 1セット
ブランクパネル(49mm) ····· 5枚
テーブル(奥行き610mm) ····· 1個
〃 (〃 400mm) ····· 2個
アングル(テーブル補強用・コンピューター支持用)4セット
スライドテーブル ····· 1枚
スライドレール(スライドテーブル用) ····· 1セット
電源コンセント ····· 6個
ケーブルアーム ····· 3本
電源コード(6m) ····· 1本
熱交換器 ····· 1台

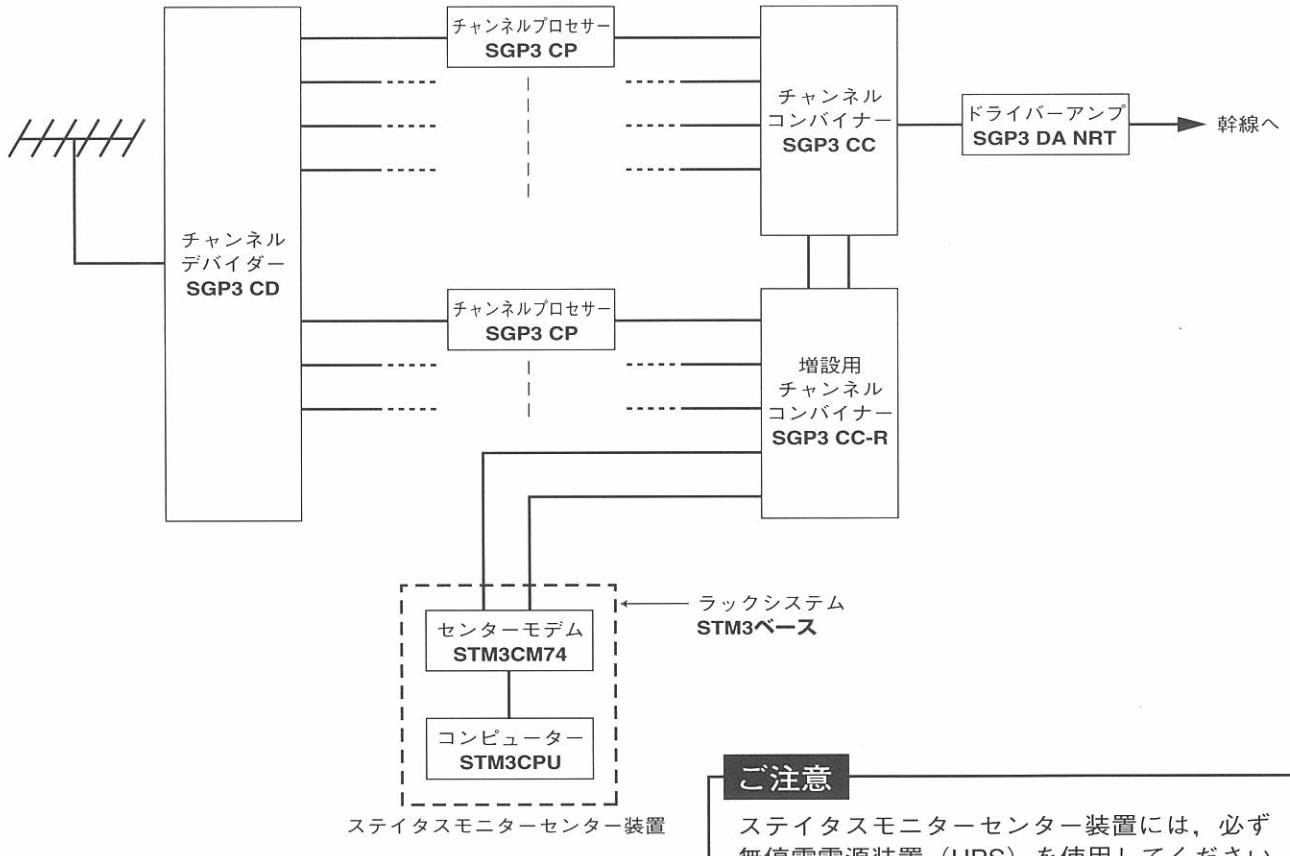
MASter of PROduction
生産の覇者

2K54-728
B-84-3728-1L

接続方法



使用例



ご注意

ステイタスモニターセンター装置には，必ず無停電電源装置（UPS）を使用してください。停電時に，コンピューターの故障の原因となることがあります。

規格表 Specifications

STM3ベース

項目 *Items*	規格
最大許容負荷 *Maximum Allowable Load*	AC100V 430W（熱交換器を含まず）
使用温度範囲 *Temperature Range*	⊕5～⊕30℃
電源 *Power Requirements*	AC100V　50・60Hz
消費電力 *Power Consumption*	55W（熱交換器）
外観寸法 *Dimensions*	2000（H）×570（W）×750（D）mm
質量（重量） *Weight*	約110kg

STM3CM74

項目 *Items*	規格
送信周波数 *Transmission Frequency*	70.5MHz
受信周波数 *Reception Frequency*	46MHz
変調方式 *Type of Modulation*	FSK（送信）／PSK（受信）
周波数偏移 *Frequency Deviation*	±75kHz
データ信号伝送速度 *Data Transmission Rate*	9600bps
最大出力レベル *Maximum Output Level*	110dBμ
出力レベル調整範囲 *Output Level Control Range*	0～⊖20dB以上（連続可変）
入力レベル範囲 *Input Level Range*	50～90dBμ
スプリアス *Spurious*	⊖60dB以下（出力レベル 110dBμ時） 10～50MHz、70～770MHz
測定端子結合量 *Tap Value of Test Point*	入・出力　⊖20dB（F型コネクター）
入・出力インピーダンス *Input / Output Impedance*	75Ω（F型コネクター）
入・出力データ *Input / Output Data*	シリアルデータ（RS232C準拠）
使用温度範囲 *Temperature Range*	0～⊕45℃
電源 *Power Requirements*	AC100V±10%　50・60Hz　40W
外観寸法 *Dimensions*	50（H）×480（W）×380（D）mm
質量（重量） *Weight*	約5kg

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

付属品

●STM3ベース

ACコード（約2m）・・・・・・・・・・・・・・・2本
（熱交換器用・**STM3CPU**ディスプレー用）
結束バンド（ケーブル固定用）・・・・15本

●STM3CM74

ACコード（約1.5m）・・・・・・・・・・・・・・1本
ヒューズ（定格1A）・・・・・・・・・・・・・・1本

製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

マルチメディア・CATVの
＝マスプロ電工＝

本社　470-0194　愛知県日進市浅田町
営業部　TEL名古屋(052)802−2244
工事営業部　〃　(052)802−2225
技術相談　〃　(052)805−3366

支店・営業所

沖縄	(098) 854-2768	熊本	(096) 381-7626
鹿児島	(099) 226-9200	長崎	(095) 846-6872
		福岡(支)	(092) 531-3861
宮崎	(0985) 25-3877	北九州	(093) 941-4026
下関	(0832) 55-1130	津	(059) 234-0261
徳山	(0834) 32-2954	岐阜	(058) 274-5315
広島	(082) 230-2351	名古屋(支)	(052) 802-2233
松江	(0852) 21-5341	工事営業	(052) 804-6262
岡山	(086) 252-5800	豊橋	(0532) 33-1500
松山	(089) 973-5656	静岡	(054) 283-2220
高知	(0888) 82-0991	松本	(0263) 57-4625
高松	(087) 865-3666		
姫路	(0792) 34-6669	福井	(0776) 23-8153
神戸	(078) 843-3200	金沢	(076) 249-5301
大阪(支)	(06) 635-2222	新潟	(025) 287-3155
工事営業	(06) 632-1144		
京都	(075) 341-0595		
和歌山	(0734) 73-8867		
横浜	(045) 784-1422	郡山	(0249) 52-0095
渋谷(支)	(03) 3409-5505	仙台	(022) 786-5060
工事営業	(03) 3499-5631	盛岡	(019) 641-1681
秋葉原	(03) 3255-7335	秋田	(0188) 62-7523
青戸	(03) 3695-1811	青森	(0177) 42-4227
八王子	(0426) 37-1699		
千葉	(043) 232-5335	函館	(0138) 53-7355
大宮	(048) 663-8000	札幌	(011) 782-0711
前橋	(027) 263-3767	釧路	(0154) 23-8466
水戸	(029) 248-3870	旭川	(0166) 25-3111
宇都宮	(028) 660-5008	北見	(0157) 61-0480

MASter of PROduction 生産の覇者
2K54-728
B-84-3728-1L